

この資料は、当社のオーストラリア子会社ブリヂストン オーストラリア リミテッド(BSAL) 発表文の和訳を、ご参考として提供しているものです。情報の内容は、すべてオリジナル 英文の意味するところが優先されます。あらかじめご了承下さい。

2009 年 10 月 23 日

各 位

株式会社ブリヂストン  
広報部  
TEL:03-3563-6811  
FAX:03-3567-4615

<参考資料>

[ブリヂストン オーストラリア リミテッド発表ニュースリリース](和訳)

## ブリヂストン オーストラリア 組織再編

オーストラリア発(2009年10月23日)－株式会社ブリヂストン(社長 荒川詔四)の在オーストラリア子会社であるブリヂストン オーストラリア リミテッド(以下「BSAL」、社長 原章二郎)は、本日南オーストラリア州アデレード市から北に約 30km 離れた同社タイヤ工場(以下「アデレード工場」)および BSAL が 100%出資しているブリヂストン ニュージーランド リミテッドが保有する、ニュージーランド クライストチャーチ市にあるタイヤ工場(以下「クライストチャーチ工場」)を閉鎖することを決定したと発表致しました。

BSAL は両工場におけるコスト競争力を向上させる為に継続的に努力して参りましたが、国際的な競争激化は、両国でのタイヤ生産事業の存続を、もはや困難な状況に追い込んでいます。

今回の決定は、本日午後(現地時間)に両工場の全従業員・労働組合に対して説明されました。

クライストチャーチ工場は 2009 年末に、アデレード工場は遅くとも 2010 年 4 月末までに閉鎖される予定です。

今回の組織再編により、クライストチャーチ工場では約 275 名、アデレード工場では約 600 名の従業員が工場閉鎖の影響を受けますが、約 1,500 名の従業員からなる物流・顧客サービス・小売事業に関しては、再編の影響なく、これまで通り事業を継続致します。

BSAL は従業員への対応を最優先事項として捉えております。今回影響を受ける従業

員は既定の退職手当などを受けることになっております。さらに、BSAL は従業員を支援する様々な施策に取り組んでいます。

BSAL のシニア・エグゼクティブ・ディレクターであるアンドリュー・モファット氏は、「両工場の全ての従業員に対し敬意を表したい。彼らの長年にわたる BSAL への貢献は大いに賞賛され、祝されるべきものである。」とコメントしています。

BSAL は今回影響を受ける従業員に対し、関連する政府機関、労働組合や外部業者とも協力して再雇用の支援を行います。モファット氏はこの件について、「BSAL は出来るだけ多くの従業員が、当社グループ内あるいは社外において、再就職する為の手助けをしていく。」と述べています。

BSAL はまた、地域社会の多大な貢献に謝意を表明する為、両工場の土地の一部を寄付することを地元政府関係者と協議すると発表致しました。モファット氏は、「オーストラリア・ニュージーランドの関係各政府に対する我々の感謝の意を形に残したい。両国にタイヤ生産拠点を持つ唯一の事業会社として、今回の決定を回避する為の最大限の努力を行ってきた。しかしながら、BSAL が両工場の操業を継続していくのはもはや商業的に困難であるという結論に達した。」とコメントしています。

アデレード工場は 1965 年に操業を開始、クライストチャーチ工場は 1947 年に操業を開始しております。モファット氏は、「当社が、長きにわたり両工場でのタイヤ生産を継続することで、多くの雇用を生み出し、利益をもたらしたことを誇りに思う。」と述べています。

本日 BSAL は両工場の閉鎖を発表致しましたが、オーストラリア・ニュージーランドはタイヤ事業を行う上で素晴らしい環境にあります。BSAL は引き続きアデレード市に本社を構えて、両国でのタイヤ販売・物流・小売・その他の事業を継続して参ります。

以 上